



**加古川市民病院機構 理念**

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます

**兵庫県主催 第3回 医療機関向け 児童虐待対応研修が 当院にて開催されました**

1月15日(月)22日(月)の2日間、当院、光(きらり)ホールにて兵庫県児童虐待防止医療ネットワーク事業の研修が開催されました。1日目は兵庫県健康福祉部の頼田二郎こども安全官より県の当事業概要説明とBEAMS Stage1(医療機関向け虐待対応プログラム)の研修を、2日目はBEAMS Stage 2研修と兵庫県児童虐待委託事業の中核指定病院である兵庫県立尼崎医療センター 毎原敏郎さまより尼崎医療センターでの取り組みの発表が行われ、2日間合わせて院内外延べ約190名の参加があり盛況のうちに終了しました。

当院も東播磨・北播磨地区の児童虐待防止医療ネットワークの中核指定病院として、今回の研修を通じ児童虐待の現状、防止策について医療機関だけでなく行政その他各機関の連携がより重要であることを再認識するとともに、児童虐待を撲滅していく気持ちを各々が心に刻む研修となりました。

今後も、児童虐待防止医療ネットワークの中核病院として、さまざまな活動をおこなって参りますので、皆様方の更なるご協力をお願いします。



**平成30年度 加古川中央市民病院 地域連携会議のご案内**

毎年、開催させていただいております当院の地域連携会議について下記の通り開催予定です。皆様方に多数ご参加いただけるよう準備いたしておりますので、宜しくご予定お願いいたします。

開催日時: 平成30年5月31日(木) 17:00~20:00  
開催場所: 加古川プラザホテル  
●学術講演会、意見交換会の2部構成予定です。

**地域連携室からのご挨拶**

平成29年度も今号にて最終となります。地域医療機関の皆様との懸け橋になるべく発行させていただいていますが、まだまだ至らないところが多く満足いただけるものにはなっていないと思います。来年度も皆様方より頂きましたご意見を基に、より良い連携誌を目指してまいります。引き続き当院の地域連携につきまして、ご指導・ご鞭撻頂けますようお願い申し上げます。

東播磨地区唯一の  
口腔外科診療室として、  
医科歯科連携を目指して



**Contents**

巻頭言 平成29年度を振り返って.....	2	連携室ニュース.....	8
診療科紹介.....	3		
《特集》口腔管理室・臨床工学室のご紹介.....	4-5		
登録医紹介.....	6-7		



## 巻頭言

# 平成29年度を振り返って

副理事長  
(兼)副院長  
(兼)心臓血管外科 主任科部長

おおぼ ひでふみ  
**大保 英文**



平成29年度も終わりに近づいてまいりましたが、地域の医療機関、介護施設の皆様には今年度も大変お世話になりありがとうございました。

昨年度はH28年7月開院からH29年3月までの9か月間で22463人の患者さんをご紹介(紹介率77.3%)いただき、23948人の逆紹介(逆紹介率93.6%)をお受けいただきました。今年度は4月から12月中旬までの9か月弱で紹介23190人、逆紹介24929人と昨年度を少し上回るペースでの推移となっており、年間では3万人を超えるご紹介をいただいております。また外来患者数、救急車の受け入れ台数、手術件数も各々昨年度9か月間で238187人、4891台、5139件でしたが、今年度は9か月弱で各々245639人、5057台、5649件といずれも昨年度を超えております。おかげさまで病床稼働率も90%を超える月が多く、紹介をいただいから入院までの待機期間が少し長くなっているかと思いますが、退院調整等全力であっておりますのでご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

今年度の設備面でのトピックスとしては放射線部門でMRIの増設を行い、昨年度長くなっておりましたMRIの待機日数の問題は概ね解消されました。また呼吸同期放射線治療(SyncTrax)の運用が開始され12月の時点で4名の患者さんが治療をうけられました。

診療面では今年度は病院開設後の方針の延長線上にあり大きなトピックスはございませんでしたが、新病院開設時導入された先進設備の稼働実績として昨年度9か月、今年度9か月で各々Hybrid手術:44、52、マグネティックナビゲーション:57、44、手術支援ロボット:15、15となっております。また心臓血管センターでは間もなく経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)が始まる予定です。今まで高齢や体力低下などの理由で大動脈弁狭窄症の治療をあきらめておられた患者さんに新たな治療の道が開けるかと思っております。

命の誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けるという病院の理念のもと、地域医療を守り、できる限りの治療を地域で完結できればと考えております。来年度もご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 診療科紹介

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

## 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科では新生児・小児から成人・高齢者まであらゆる年齢の方を対象に、中耳炎、難聴、めまい、顔面神経麻痺、鼻炎、副鼻腔炎、扁桃炎、声帯ポリープ、耳下腺・顎下腺・甲状腺の腫瘍など多岐にわたる分野を対象に3名体制で外来・入院・手術の対応に当たっております。

手術症例はクリニカルパスを利用して、両側口蓋扁桃摘出術・頸部手術は9日間、鼻副鼻腔内視鏡手術は1週間、喉頭微細手術は3日間程度の入院になっています。特に副鼻腔炎に対する内視鏡手術症例の増加は著しく、眼科と共同での鼻涙管閉塞症に対する涙のう鼻腔吻合術も開始しました。小児症例は小児科病棟の入院で小児科医のサポートを受けて治療を行っています。

突発性難聴には1週間入院でステロイドミニパルスを行い、急性期治療後はかかりつけ医の先生方に逆紹介で御高診いただくことが多くなっています。また顔面神経麻痺に対しては入院でのステロイドミニパルスに加えて、発症初期から自発運動を禁止してマッサージを主体としたリハビリも積極的に行っており、病的共同運動などの合併症の軽減を認めています。

急性扁桃炎、鼻出血など急性疾患も可能な限り対応できるよう努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



耳鼻咽喉科 主任科部長  
やすい りえ  
**安井 理絵**



歯科口腔外科 主任科部長  
(兼)口腔管理室長  
たちばな あきら  
**橘 進彰**

歯科口腔外科は、旧神鋼加古川病院から加古川東市民病院、そして統合病院である加古川中央市民病院において引き続き診療を担っております。地域の口腔外科2次医療機関として、顎口腔領域における疾患の診断・治療、また24時間体制での顎口腔領域における急性疾患の救急受け入れ態勢を行っております。

対象となる疾患としては、埋伏智歯抜歯、顎骨嚢胞・腫瘍、外傷による顎の骨折、重症歯性感染症、顎変形症、口腔粘膜疾患などです。

近年では、チーム医療としての歯科の役割も多くなってきております。抗血栓療法中の抜歯依頼における全身評価や骨吸収抑制剤による顎骨への影響などへの対応では、かかりつけ医である先生方への連携を行っております。周術期口腔機能管理における心臓血管手術や癌の手術、抗癌剤・放射線治療など術前後における口腔ケア、病巣感染の原因となる歯の処置などの依頼があります。また形成外科より唇顎口蓋裂児のHotz床の作製など、さまざまな診療科との連携があります。

今後ともより良い医科歯科連携、多職種連携によるチーム医療を念頭に置いて、患者中心の適切な医療を提供するよう歯科口腔外科一同診療に従事してまいります。

## 歯科口腔外科

## 特集 口腔管理室

### 東播磨地区唯一の口腔外科診療室として、 医科歯科連携を目指して



口腔管理室 主任技師長代理  
なかしま なりよし

**中島 成美**

口腔管理室は、現在歯科技工士2名、歯科衛生士7名が所属しており、口腔外科の歯科医師6名と共に口腔外科疾患の診療を主な業務としています。歯科診療所からのご紹介では、埋伏智歯抜歯、嚢胞、腫瘍、外傷、蜂窩織炎、口腔粘膜疾患、顎関節疾患、全身疾患を有する方の抜歯などです。入院手術を要する症例も多く、出来る限り手術までの待ち時間を短縮できるよう努力し



ています。新病院開院当初は、4か月待ちだった外来・入院手術ともに2~3か月待ちとなり、改善はみられるようになりました。

また、医科の先生方からは上記疾患のご紹介に加え、基礎疾患を有する患者さんの処置前には、病態把握のため情報提供をいただいております。

更に、院内外の医科よりBP製剤やデノスマブなどの投与前に歯のスクリーニング依頼をいただいたり、周術期口機能管理として、心臓血管外科手術前やがんの外科手術前、化学療法や放射線療法時にご依頼をいただいております。

歯科衛生士は、外来診療以外に、NSTチームやRSTチームへの参加によ



り、ICUにおけるVAP予防や入院患者の口腔ケアを行い、周術期口機能管理として、手術前後に口腔ケアを主とした口腔管理を行うことにより、術後肺炎や術部感染の予防、合併症の予防、QOLの向上を目指して日々取り組んでいます。かかりつけ歯科の先生方には、入院前後の周術期口機能管理を依頼させていただく場合もあります。スムーズに口機能管理が移行できるよう、情報提供にも努めて参りますので、ご協力お願いいたします。

そして、歯科技工士は、顎補綴や顎骨骨折固定用装置、睡眠時無呼吸症候群のスリープスプリント、口唇口蓋裂のホッツ床など、迅速な製作を行い患者サービスの向上に努めています。

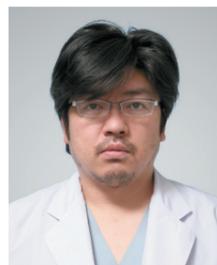


今後も診療支援室の一員として幅広い診療科に対応できるよう、日々研鑽を積み、地域の皆様に安心を届けられる口腔管理室でありたいと考えています。地域の先生方には、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



feature

## 特集 臨床工学室



臨床工学室 技師長  
(兼) 医療安全担当副課

いん そうちよる  
**尹 成哲**

臨床工学室は、人工呼吸器や人工心肺装置、人工透析、ペースメーカーなど患者さんの生命に直結する生命維持管理装置の操作、保守管理を行う部署です。現在20名の臨床工学技士が在籍し、多種多様な医療機器を安全かつ効率よく使用できるように尽力し、患者さんに質の高い医療を提供できるように日々研鑽に励んでいます。主な業務は、手術室業務(人工心肺、手術支援ロボットda Vinci)、不整脈業務(アブレーション、CIDES)、血管造影室業務

(PCI、EVT)、内視鏡業務(EGD、CS、ESD、ERCP)、血液浄化業務(HD、CHDF、PE、CART)、SAS業務、集中治療業務(人工呼吸器、RST、保育器管理、補助循環装置)、医療機器管理業務(ME機器業務の保守・管理、修理対応)を日々の業務として行っています。日本国内で2台しか導入されていないアブレーションに使用するマグネティックナビゲーションシステムや最新の手術支援ロボットda Vinci Xiへの業務支援、心臓手術や心臓カテーテルでは新生児・小児の先天性心疾患から、成人先天性疾患、成人後天性心疾患

まで幅広く手術や治療に対応しています。また高リスクの大動脈弁狭窄症に行うTAVIも開始される予定です。学会発表や認定資格の取得にも積極的に取り組んでおり、現在、体外循環認定士5名、不整脈治療専門臨床工学技士2名、消化器内視鏡技師認定5名、透析技術認定士2名、心血管インターベンション技師認定2名、3学会合同呼吸療法認定士7名を取得し、各分野で専門知識を生かし業務に取り組んでいます。急性期病院としての臨床工学室として、2011年4月より、当直業務を開始し、24時間365日いつでも迅速に患者

さんに対応できるような体制をとっています。医療機器に関する安全確保はもとより、地域の医療機関との連携を密にして患者さんからの信頼を得られるよう、スタッフ一同取り組んでいきます。今後ともよろしくお願いいたします。



当院と連携いただいている登録医療機関をご紹介します。



## 松田耳鼻咽喉科

- 診療科 耳鼻咽喉科
- 駐車台数 病院敷地内17台  
(病院向け「GSパーキング」利用可)
- 所在地 加古川市加古川町粟津253

TEL. 079-422-3090



院長 松田 英男 先生

加古川町粟津で私が医師として開業してから、28年になります。父の代から診察しておりますので60数年加古川市で医療に関わっていることとなります。これほど長く開業しているものの、当院はごく一般的な耳鼻咽喉科であり、当院だけで対処できない病気も多くあります。突発性難聴 顔面神経麻痺 急性喉頭蓋炎 止血困難な鼻出血など中央市民病院に受け入れて頂き助かっております。特に加古川町に中央市民病院が移転してからは、当院

より徒歩10分で行けますので、ほぼ毎日のように紹介させていただいております。中央市民病院と連携することでより良い医療を提供していきたいと思っておりますので、これからも宜しくお願いいたします。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 8:45~12:00	●	●	●	●	●	●	—
午後 15:30~18:30	●	—	●	—	●	—	—



## あたらし歯科医院

- 診療科 成人歯科 / 小児歯科 / 予防歯科 / 審美歯科 / 口腔外科 / 矯正歯科 / インプラント
- 駐車台数 11台
- 所在地 加古川市加古川町備後63-3

TEL. 079-454-6666



院長 新和教 先生

1998年2月2日、郵便番号が7桁になった日に開業しました。医療を取り巻く環境は、20年前とは随分変わってきたと思います。それに伴って、それぞれの医療機関に求められる、使命も変化してきたと思います。かかりつけ歯科医に求められるものは高齢化とともに、有病者の歯科治療をいかに安全に提供できるかと考えます。地域の医科の先生から情報提供、助言を頂き医科歯科連携させて頂くことが一人一人の患者様の利益だと思っております。あたらし歯科医院は地域のかかりつけ医として、往診業務を含め小さい子供さんから年配の方まで、幅広い層の日常生活のサポートをこれからも提供できる一次医療機関として努力したいと思

みます。また、加古川中央市民病院は正に地域の中核病院であり口腔外科を始め専門性の高い科が集約されており、安心して紹介させて頂くことができ、患者様におかれましては中核病院連携に大変満足されております。地域の医科の先生、そして市民病院の皆様と密に連携をして頂き、患者様により安全で安心して受診して頂ける歯科医療をしてゆきたいと思



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~13:00	●	●	●	●	●	●	—
午後 15:00~19:30	●	●	■	●	●	■	—

■水曜日・土曜日 午後往診



## ふせ耳鼻咽喉科

- 診療科 耳鼻いんこう科 / アレルギー科
- 駐車台数 30台
- 所在地 高砂市荒井町東本町1-27

TEL. 079-440-3060



院長 布施 愉香 先生

私がふせ耳鼻咽喉科院長の布施愉香です。当院は、平成20年10月に高砂市荒井町小松原交差点の南西角の地に開院し、今年で10周年を迎えます。加古川中央市民病院(当時は加古川市民病院)とは、開院当初から病診連携を通じてお世話になっており心より感謝申し上げます。私は、耳鼻咽喉科という診療内容より子供から高齢者までの幅広い年齢層の患者様に対し、常にできる限り『根治』をめざして、個々人に最適な医療を提供して参りたいと考えております。そのために、画像を含めた精査、入院・手術等の加療が必要と判断した患者様を、高次医療機関である加古川中央市民病院にご紹介さ

せていただいております。特に耳鼻咽喉科の先生方を中心に、内科・歯科口腔外科・皮膚科・形成外科・放射線科の先生方にもひとかたならぬご高配をいただいております。これからも、地域医療への貢献を目標として、患者様の満足いく医療を実現すべく加古川中央市民病院との連携を深めて参りたいと考えておりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	●	●	●	—	●	●	—
午後 16:00~19:00	●	●	●	—	●	—	—

●土曜日 9:00~13:00



## さえき矯正・小児歯科医院

- 診療科 小児歯科 / 矯正歯科
- 駐車台数 15台
- 所在地 加古川市加古川町溝之口622

TEL. 079-422-1101



院長 佐伯 克彦 先生

1988年に開院以来、目標は、病気の対応以外にお子様の成長発育(身体的、精神的、機能の獲得)を見守り適切に介入支援し健康な成人に育つことを目指してきました。当初は虫歯治療や乳歯早期脱落に入れ歯を使用し、歯並びや顎の発育に影響がでないように気を付け、そのあとは定期健診での虫歯予防が主でした。中期になると虫歯は減少(小児歯科の悲願)する中で、顎の中で発育中の永久歯が異常な方向に移動する現象に遭遇するようになり子供たちの成長変化に気がきました。後期になると顎の成長の不調和やお口の機能の発育不良なども目立つようになり、お子様のお口の環境は劇的に変化してきました。歯の萌出方向の異常もほとんどの歯種にわたり様々な方向に

同時多発的に出現することも増えてきました。この時期には歯科用CTを活用するようになり、小児歯科学、矯正歯科学の知識・技術だけでなく、口腔外科学、歯周病学などの専門医の先生方と連携を持ち総合的な視点に立たねば問題解決できないようになりまし。加古川中央市民病院地域連携に組み入れて頂き、歯科・口腔外科 橋先生を筆頭に諸先生方には厚く感謝するしだいで。今後もスタッフ一丸となって子供たちの健康に寄与していく所存です。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:30~12:30	●	●	●	—	●	●	■
午後 14:00~18:30	●	●	●	—	●	●	■

●土曜日 9:00~12:30 / 14:00~18:00 ■日曜日(矯正治療のみ) 9:00~12:00 / 13:00~17:00 ■祝祭日(休診日もあり) 9:00~13:00 / 14:00~17:00